

2007年度 第2回 理事会報告

9月8日、東京本郷・機山館で、協会の理事会が開催されました。主に各種委員会の構成方針、手続きが討論されました。新しく設置された 市民活動委員会は、各都道府県協会において専門職と一般市民を対象に「日本の社会福祉は、これでいいのか」を共通テーマとして、社会福祉の現状を問題提起してゆこうということになりました。また広報委員会は、会員とのパイプである会報の編集を一層充実したものにしておくこと、ホームページの改善を図ることが確認をされました。20年1月12・13日の新春合同役員会、公開セミナーは、大阪で開催することをお願いすることになりました。

また、国際委員会の岩崎委員長から EU(ヨーロッパ連合)で、2010年を目標にすめられてきたソーシャルワーカー養成の共同カリキュラム化がすすみ、ほぼ完成に近づいていることが報告されました。そこで、その内容を国際委員会として情報収集して会報で会員に情報提供しようということになりました。

2007年度 地方代表者会議・報告

9月9日、東京本郷・機山館で、恒例の地方代表者会議を開催し、都道府県協会の活動状況の情報交換が行われました。共通して議論されたことは、会員の動向、18・19年度の活動内容、専門職4団体の連携状況、財務内容などでした。主な議論としては、研修委員会がかって力を入れてきたスーパービジョン研修会を引き続き開催している地方協会があるが、もう一度研修委員会として整理して地方開催を支援してゆこう。研修や調査研究などに助成事業を積極的に活用してゆこう。都道府県協会では介護福祉士試験受験対策講座を開催しているところがあり事業として注目された。